

津山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本文学論	
科目基礎情報							
科目番号	0095		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	総合理工学科(電気電子システム系)		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：なし（プリントを配布），参考書：『国語便覧』，『国語辞典』（どの出版社のものでも良い）						
担当教員	江原 由美子						
到達目標							
学習目的： 様々な文学作品の解釈・鑑賞を通して，視野を広げ，思考力を高める。 日本語・日本文学に関する教養を身に付け，日本文化に対する理解の深化をはかる。							
到達目標 1．様々な作品や文献を読み，多角的に物事を考える力，柔軟に発想する力を育む。 2．日本語・日本文学に関する知識を増やす。 3．日本文化について自らの意見や考えを持ち，それを自身の言葉で説明できるようになる。 ◎ 4．効果的な説明方法や手段を用いて，コミュニケーションを図ることができる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	文学作品の内容や日本語の歴史について調査・考察を行い，その結果を説明することができる。		文学作品の内容や日本語の歴史について調査・考察を行い，その結果を述べることができる。		文学作品の内容や日本語の歴史について考察を行い，その結果を述べることができる。		文学作品の内容や日本語の歴史について，考察を行おうとしない。
評価項目2	代表的な日本文学作品について，概要を説明できる。		代表的な日本文学作品について，タイトル，作者名，成立時代，ジャンル等を答えられる。		代表的な日本文学作品について，タイトルや作者名を答えられる。		代表的な文学作品について知ろうとしない。
評価項目3	日本文化に関する自らの意見や考えを持ち，説得力のあることばで他者に説明できる。		日本文化に関する自らの意見や考えを持ち，他者に説明することができる。		日本文化に関する自らの意見や考えを持ち，他者に説明する努力をすることができる。		日本文化に関する自らの意見や考えを持とうとしない。
評価項目4	臨機応変に方法や手段を選択し，より良いコミュニケーションを行うことができる。		的確な方法や手段を考え，円滑なコミュニケーションを行うことができる。		適切な方法や手段を考え，コミュニケーションを行う努力をすることができる。		効果的なコミュニケーションについて考えない。また，コミュニケーションを行おうとしない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：国語 必修・必履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野：人文学／文学／日本文学，人文学／言語学／日本語学 学科学習目標との関連：本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（B）地球の視野に立った人間性の育成，B－2：地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し，説明できること」であるが，付随的には，「B－1」「B－3」「D－3」「F－1」「F－2」にも関与する。 授業の概要：文学作品や言語資料を読み，各時代の日本語・日本文学について概観する。また，そこに見られることばの変化に着目し，背景にある日本文化の様相について考察する。						
授業の進め方・方法	授業の方法： 各時代の文学作品や言語資料を読み，日本語・日本文学史の講義を行う。時代や内容ごとにテーマを設定し，課題提出物やレポートを課す。 成績評価方法： ・成績は，課題提出物（50%）＋最終レポート（50%）により評価する。 ・定期試験は実施しない。						
注意点	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが，これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：積極的に授業に参加し，自身の表現力を高める努力をすること。常日頃から様々な文章に触れ，柔軟に思考する練習をすると共に，日本語・日本文学に関する知識を増やす努力をすること。 基礎科目：国語Ⅰ（1年），国語Ⅱ（2），国語Ⅲ（3） 関連科目：国語Ⅳ（4年），異文化社会論Ⅰ（4） 受講上のアドバイス： ・授業開始時刻に遅れた場合，20分までは遅刻，それ以降は欠課として扱う。 ・授業に積極的に参加し，期限を守って忘れずに課題を提出すること。 ・授業中に辞書を引く場合，携帯電話やスマートフォンの辞書を使用することは認めない。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス			授業内容・方法等について知る。	
		2週	上代のことばと文学 1			上代の代表的な文学作品について知る。	
		3週	上代のことばと文学 2			上代の日本語の概要について知る。	
		4週	中古のことばと文学 1			中古の代表的な文学作品について知る。	
		5週	中古のことばと文学 2			中古の日本語の概要について知る。	
		6週	中世のことばと文学 1			中世の代表的な文学作品について知る。	

		7週	中世のことばと文学 2	中世の日本語の概要について知る。
		8週	(後期中間試験)	
	4thQ	9週	近世のことばと文学 1	近世の代表的な文学作品について知る。
		10週	近世のことばと文学 2	近世の日本語の概要について知る。
		11週	近現代のことばと文学 1	近代の代表的な文学作品について知る。
		12週	近現代のことばと文学 2	現代の代表的な文学作品について知る。
		13週	近現代のことばと文学 3	現代の日本語の概要について知る。
		14週	日本語の変化と日本文化の様相	日本文学の流れや、日本語の歴史の大まかな流れをつかむ。
		15週	(後期末試験)	
		16週	まとめ	まとめを行い、日本語・日本文学や日本文化への理解を深める。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0